



記入日	西暦 2021 年 1 月 5 日 (2020 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	岐阜県立大垣特別支援学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	8
タイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	災害伝言ダイヤルクイズ ～災害伝言ダイヤルを使ってみよう～
実践担当者のお名前	山本隆史

実践にかかった金額	ほぼ 0 円
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	西暦 2020 年 8 月 31 日～西暦 2020 年 9 月 5 日
実践の所要時間	算出不能
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	特別支援学校児童生徒・教職員・保護者/PTA
防災教育の対象者の人数	約 500 人
実践を行った都道府県と市区町村	岐阜県大垣市
実践を行った具体的な場所	岐阜県立大垣特別支援学校・児童生徒自宅
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	・災害伝言ダイヤル (体験期間)

達成目標	・児童生徒及び保護者が災害伝言ダイヤルを体験できるようにする。 ・災害伝言ダイヤルの使用方法を理解し、必要時に使用することができる。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	全く
	学びに向かう力・人間性	少し



実践内容・方法	1. 事前準備 ○実施計画 ・災害伝言ダイヤル体験期間中に学校が録音したキーワードを児童生徒及び保護者が聞き、解答用紙にキーワードを記入し、学校に提出する。 ○災害伝言ダイヤル体験期間確認 ・NTT のホームページで体験期間を確認した。 ＊防災週間：8月30日～9月5日 ○保護者案内・解答用紙作成 ・保護者案内には災害伝言ダイヤルの使用手順を記載した。 2. 実践内容 ○キーワード録音（8月31日 9：00） ・学校の電話番号でキーワードを録音した。 （キーワード：じしんだんゴムシ） ○災害伝言ダイヤル体験 ・児童生徒及び保護者は、災害伝言ダイヤルの音声指示に従って学校が録音したキーワードを聞き、解答用紙に記入し、提出する。 ・職員防災力テストにキーワードを回答する問題を設定し、教員も体験できるようにした。 ○結果 ・回答数 95 （回答率：約40％）	
得られた成果	・災害伝言ダイヤルを実際に体験できる取組みとなった。 ・災害伝言ダイヤルを体験することで、災害時の連絡方法を身に付けることができた。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	全く
	学びに向かう力・人間性	少し
課題・苦労・工夫	・保護者案内には操作の手順も記載したが、間違えて録音してしまうことが数件あった。録音してしまうと正しいキーワードが分からなくなってしまうので、担当者で確認し、その都度訂正する必要があった。	



	・回答率が低いので、より多くの児童生徒及び保護者に取り組んでもらう工夫が必要である。 ・高等部等、自分で取り組むことができるように工夫が必要である。
--	--

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	
関係者の説明	
関係者の連絡先	

★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	
伝えたい内容	・災害伝言ダイヤルを体験するのが初めてという家庭が多かった。体験期間を利用し、いざという時のために使用方法を確認しておくの良いと思います。